



## 第25回武蔵ヶ丘児童館運動会 親子で一緒に楽しく競技を

10月15日、武蔵ヶ丘児童館で第25回武蔵ヶ丘児童館運動会が行われました。

運動会には1歳児から2歳児までの子どもと保護者の約50組が参加。



▲力いっぱい綱を引く子どもたち

子どもかけっこや大玉転がし、綱引きや玉入れなどさまざまな種目が行われました。

子どもたちは元気いっぱい駆け回り、保護者やお友だちと一緒に運動会を楽しみました。

## 光の森7町内自治会が できました

10月2日、光の森7町内自治会設立総会が、三里木町民センターで開催されました。

光の森7丁目には、約300世帯が居住。自治会の設立に当たっては、住民有志がこれまで会議を重ね、自治会規約や予算案などを検討してきました。

当日は光の森7丁目の住民が集まり、これら自治会規約の決議や役員を選出などを行いました。

総会では、併せて今後の事業計画についても話し



▲光の森7町内自治会区域

合わせ、防犯灯設置と子ども会活動への支援などを中心に、これからの自治会活動を進められます。

## 菊陽中2年生が郷土料理 あんもちだご汁づくりに挑戦!

9月21・24日、菊陽中学校で、菊陽町生活研究グループ員が講師を務める郷土料理学習会が開催されました。

菊陽産の野菜を使って作ったあんもちだご汁は、初めて食べる生徒たちからも「家でも作ってみたい」との声が上がるほど好評でした。

また21日は、オーストラリアからの留学生も一緒に楽しく交流をしながら作ることができました。



▲だご汁をつくる生徒たち

## 交通安全意識を高める 大津地区交通安全推進大会

9月18日、西原村構造改善センターで、大津地区交通安全推進大会が開催されました。

この大会は、大津警察署管内の4市町村の住民を対象に交通安全意識の高揚と交通事故を防止することを目的に、秋の全国交通安全運動に合わせて毎年行われています。今年は銃剣道演舞、西原中吹奏楽部コンサート、大津地区交通安全協会講習員の桑原洋子さんによる寸劇、また出発式では「にしはら夢運太鼓」のアトラクションが行われました。



▲大津地区交通安全推進大会の開会式

## 田んぼの学校 in 白川中流域(稲刈り)

10月17日、「田んぼの学校 in 白川中流域」が下津久礼の水田で行われました。

この取り組みは、白川中流域水土里ネット協議会が主催したもので、熊本市、菊陽町から135人の親子が参加。6月に田植えした水田約20%を鎌で黄金色に実った稲を刈り取りました。

昔ながらの農機具体験では、千歯と呼ばれる脱穀機や足ふみ脱穀機・唐箕・石臼の体験をしました。

稲刈り後は、この水田で収穫したお米のおにぎりと豚汁で収穫を祝いました。



▲下津久礼の田んぼで稲刈りをする子どもたち

## スポーツの秋到来 西小校区体育祭

10月10日、菊陽西小学校で西小校区体育祭が行われました。今年は光の森区から新たに参加があり、体育祭を盛り上げました。

当日は晴天に恵まれ、綱引きやムカデ競走、玉入れ、地区対抗リレーなど、さまざまな競技が行われました。

体育祭にはたくさんの住民が参加。子どもから大人まで一丸となって競技に挑み、スポーツの秋を楽しみました。



▲力いっぱい綱を引く選手たち(杉並台)

## セミコンテックパーク周辺の 通勤自粛道路の通行実態調査

セミコンテックパークに立地している企業で組織するセミコンテックパーク協議会(ソニー九州含む20社)では、通勤道路と通勤自粛道路を指定し、通勤自粛道路(周辺地域の生活道路や農道など)を利用しないよう会員企業へ協力を要請しています。

この様な中、当協議会では、その実態を把握するため、9月29・30日の両日、通勤自粛道路に指定されている5カ所の地点で調査を実施、通行車両の把握と直接指導を行いました。

なお、この調査は、平成17年度から春と秋に実施されており、今後も継続して実施される予定です。



▲実態調査をする同協議会の会員

## 地域を美しく 年金受給者ボランティア清掃

9月28日、厚生年金受給者協会菊陽町部会(生山会長)による清掃活動が、町民総合運動場や役場周辺道路で行われました。

当部会は年に2回ボランティアでこの清掃活動を行っており、今回は約70人が参加。熊手や草取り鎌などを手に、雑草抜きや落ち葉の片付け、ごみ拾いを行いました。

この日集めた落ち葉は、肥料として鉢植えのたい肥や畑の肥に利用されます。



▲町民総合運動場周辺の落ち葉を片付ける会員の皆さん